

⑥三陸沿岸道路 ^{せんえん} 仙塩道路の4車線化

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台工事事務所

全建賞審査委員会の評価ポイント

被災地復興のリーディングプロジェクトとして整備を進めている復興道路・三陸沿岸道路の一部となる仙塩道路で、慢性的な交通混雑緩和のため2車線を拡幅して4車線にするとともに、多賀城ICを新設した事業。被災地復興のため早期開通が求められ、埋蔵文化財調査期間の短縮や、資材調達の手続き等により4年で完成したことを評価。

1. はじめに

三陸沿岸道路は、宮城、岩手、青森の各県の太平洋沿岸を結ぶ延長359kmの自動車専用道路で、東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトに位置付けられた復興道路である。

仙塩道路は、三陸沿岸道路の起点部にあたる延長7.8kmの自動車専用道路である。この事業は、国土交通省東北地方整備局と東日本高速道路株式会社仙台支社の合併施行により、仙台港北インターチェンジから利府中インターチェンジの延長7.8km全区間を4車線化するもので、多賀城インターチェンジとともに平成28年3月27日に供用開始している。

2. 事業の概要

仙塩道路の4車線化は、仙台港北インターチェンジ北側から利府ジャンクション間の慢性的な交通混雑を緩和し、ボトルネックの解消、速度向上による物流の広域的な効率化支援と多賀城インターチェンジも含めたアクセス向上による歴史的観光施設等の観光活性化が期待されている。

3. 事業の成果

4車線化により、上り方向で朝夕ピーク時に発生していた混雑がなくなり、慢性的な混雑が解消された。

また、4車線化の工事区間は、有数の埋蔵文化財包蔵地であり、教育委員会と調査基準の弾力的運用や冬期間の調査実施など調査期間短縮の調整を行った。さらに資材調整が不安定な状況にあり、降雨で生コン打設を延期すると近日中には次の生コンが入手できないため、ブルーシートで屋根を作り、降雨影響が出ないように工夫した。また構造面においても床版コンクリートの耐久性向

上のため、桁端部や主部材横断面などに防水材料を塗布するなどの創意工夫に努めた。

その後、工事を引継いだ東日本高速道路株式会社東北支社仙台工事事務所においても、特に仙台港北インターチェンジ及び利府ジャンクションの分合流地点の切替・併合、標識等の新設撤去、門型標識など数多くの作業を約18時間の通行止めで完了するなど短期間で工事を完了させ、4車線化を4年間で完成している。

■仙塩道路の慢性的な交通混雑状況



4車線化前



4車線化後

4. おわりに

仙塩道路の4車線化によるさらなる震災復興の加速化、広域的な物流の効率化、観光活性化に期待している。

賛助会員 岩田地崎建設(株)、オリエンタル白石(株)、セントラルコンサルタント(株)、(株)長大、(株)NIPPO、日本国土開発(株)、日本鉄塔工業(株)、日本ファブテック(株)、(株)橋本店、(株)復建技術コンサルタント、三井住友建設(株)、(株)横河ブリッジ